

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	愛知教育大学	個人・グループ名	ズゴッド	作品名	カップスープラック
-----	--------	----------	------	-----	-----------

○製作の動機、目的

自分の机の上に無造作に置かれていたカップとスプーンをきれいに片付けるために本作品を考えた。また、スープの粉やコーヒーのスティックも一緒にしまえるような構造にした。

○利用方法

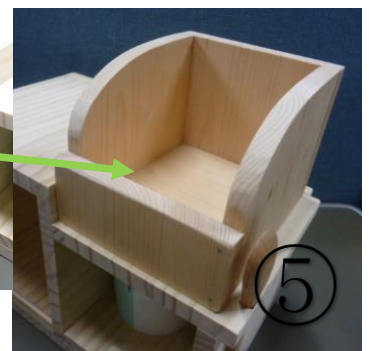
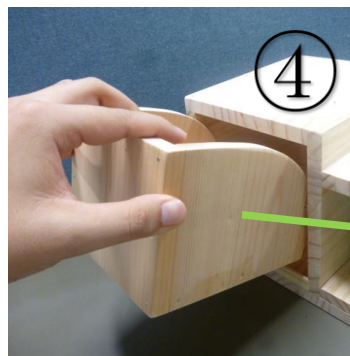


①の写真で、左側がスープの粉などを入れるケース、右側がカップをしまう棚、右端の小さな穴がスプーンをさす穴である。穴はスプーンがぴったり入る。

②の写真よりカップを入れる棚底には可動式の台を備え付けた。台の前部についているつまみを持ち、前に引き出すことができる。カップのサイズぴったりで作っており、ほこりが入ることを防ぐ。



③の写真よりスープケースはスープ袋のサイズぴったりで作った。ケースが収まる場所の下部にはストッパーを付けた。また、ケース壁面を曲線とした。これにより、③の写真のようにケースを前に倒して出すことができる。さらに、ケースだけを取り外して使うことも可能にした。④の写真のようにケースを取り外し、⑤の写真のようにラックの上に載せて使うこともできる。



○工夫した点

スープケースやカップの棚、スプーンの穴のすべてにおいて実物に基づいて計測し、正確に作った。ただ収納しておくだけではなく、スープやカップが取り出しやすい構造や台を作った。机の上のスペースをあまり使わないようにコンパクトに作った。①の写真より、ラックの上に段差を付けた意図は、それぞれの上に置くものを分別するためである。段差があることで見た目も良い。

ラックの角は全て紙やすりで面取りを行うとともに、全面にやすりがけをしているので、触り心地がとても良い。側面や底面、天井の木目の向きをそろえたことも工夫の一つである。